

# 願成寺報

平成二十九年十一月二十日

〒四四〇・〇八二二 豊橋市東新町二十八番地

☎ 〇五三二一・五二一・九六〇一

## 報恩講のご案内

春秋のお彼岸に比べて報恩講のお参りが少ないままです。お供物やお飾りにも手間を掛けて準備します。

法要は近隣のお寺様が駆けつけて下さり、盛大に勤めます。お斎(食事)も精進ですが豪華に作ります。美味しいです。法話も多彩な方をお願いしていきます。

真宗寺院で最も大切な行事です。

今年は雅楽もお願いしました。

餅つき会も楽しいです、ご参加下さい。



十一月 三十日(木) 午後一時 餅つき・草取り会

十二月 二日(土) 午後一時半 法要・法話 岡崎市浄泉寺 戸田信行師

午後四時 お非時(お雑煮)

午後五時 法要・法話 住職

三日(日) 午前十時 法要・法話 西川舜優師 開山聖人絵伝の絵解き

午前十二時 お斎(昼食)

午後一時半 法要・法話 西川舜優師 開山聖人絵伝の絵解き



餅つき/供物



戸田 信行 師

長い信仰生活が醸し出す円熟の法話。当山ではお馴染みの先生です。

### お斎(昼食)

お斎も楽しみの一つ 胡麻豆腐は住職/坊守の手作り 今年上手に出来るかな



### 雅楽・菊理(くくり)

本堂落慶法要からのご縁です 古風な調べで年中最大行事に華を添えて下さいます



西川 舜優 師

1980年生まれ 32歳で得度。海外貿易の会社員からバーのオーナーを経て真宗高田派の僧侶になった。異色の経歴を持つ。

古典説教の世界に魅せられ、古典説教師に師事する。

講談節調の語り口で寺以外でも、祭りでの辻説法・飲食店・演芸場等で精力的に布教を展開している。

テンポの良い語り口が好評。

当山では開山聖人伝絵の絵解きをしていただく予定です。

## ● 正信偈ノート ②①・道綽章 I

書き直しを恐れず、今、思い浮かぶところを書き留める

道綽決聖道難証 唯明浄土可通入

黄色の勤行本の

万善自力貶勤修 円満徳号勸専称

三十三ページから

道綽、聖道の証し難きを決し、ただ浄土のみ通入可を明かす。万善の自力、勤修を貶す。円満の徳号、専称を勧む。

〔浄土真宗本願寺派・注釈版聖典より〕

### ・聖道(門)

現世にて心を起こし行を立て修めようとする仏道  
自力難行の仏道であり、聖人の行ずる道  
現世穢土にて仏果を得ようとする法門

### ・浄土(門)

阿弥陀浄土を想い念仏申し歩む仏道  
他力易行の仏道であり、凡夫往生の唯一の道  
来世浄土にて仏果はもたらされるとする法門

・万善の自力  
万の善根、功徳を修めるための行  
おとしめる劣ったものとして蔑む

・貶す

・円満の特号

聖道の経論行は正しくとも時機不相応と退けた  
功徳円満の名号 南無阿弥陀仏のこと  
仏の本願が成就し 仏より賜るものにより円満

・専称

専ら称えること

### ・道綽禪師

七高僧の第四祖。仏滅一千五百年(七世紀)ごろ、聖徳太子と同時代に活躍した僧。三国が睨み合う南北朝時代の中国で、小国北斉の出身。戦乱と飢饉の中、十四歳で出家するも北周武帝の侵略と廢

仏に遭い十六歳で還俗。やがて隋の文帝が中国全土を統一し、律令制度を整え、仏教も再興した。

道綽は二十歳から「一切衆生悉有仏性」を

説く『涅槃經』の学僧となり、二十四回の講釈を行う。

三十歳頃から原始仏教を標榜する慧瓚禪師に師事し、托鉢・禪定・戒律の実践を励む。四十六歳の時、師匠が七十二歳で示寂した。道綽は仏性発露のために行を求めたが、尊敬する師匠にさえ、その証を見出すことが出来ず、聖道の道は閉ざされたと感じたようだ。

道綽四十八歳の時、曇鸞滅後六十八年の玄中寺にて、曇鸞の碑文に感銘を受けたとされる。浄土の教えに帰してこの寺に留まり、民衆と共に念仏を慶び、八十四歳で示寂した。

念仏を毎日七万回称えたとされる。『觀無量寿經(觀經)』を二百回講釈し、『安樂集』を著した。

### 主な著作

#### 『安樂集』

諸経論の文を援引して『觀經』の要義を示し、安樂浄土の往生を勧めたもの(上下二巻)

浄土門の理論的基礎を築いたものとして大きな思想的意義を有している

・時機相応の教え―懺悔し福を修し仏の名号を称すべき時なり―

『安樂集』は小さな書物でInterNetでも読める。気になった箇所を忘備として記す。

所を忘備として記す。

第一大門・教興所由 『大集月蔵經』より引用

第三大門・難易二道 『浄土論註』『大經・上』など

第六大門・經教住滅 『大經・下』

・民衆の中で

伝記は、曇鸞の碑文に感銘したと伝えるが、その文言でなく、碑を守る民衆に動かされたと思像する。末法五濁の時代にあつて、それでも穏やかに暮らす民衆が、玄中寺の近隣には居た筈だ。その念仏の聲が、浄土門の証として道綽の耳に響いたと考える。



## 創作・道綽禪師の浄土

暗い顔をした小僧よ、お前はスゴロクをしたことがあるか？  
様々流転輪廻してきた魂がアガリの一步手前まで来ておる。  
此処をしくじるとフリダシに戻るかも知らんが、よいか？  
奪い・殺してまで生きなければならぬ理由が解らないのだな。  
世界を殺し合いと観とるのか？ 生かし合いとは思えんか？  
何者がこの二つを分かつのか、考えたことはあるか？  
悲しみが無いか・有るかが分かつのだが、納得するか？  
仏の子よ、この悲しみを課題として生きる訳には参らぬか？  
この悲しみだが、何かこしらえて解決する様なことではないぞ。  
この濁世の中で、儂らがこしらえられるものなど偽物に過ぎぬ。  
むしろ納得している事を疑い壊し、点検していく方が重要じゃ。  
大聖世尊よりこの方、一千六百年の間、この広い大陸にて、  
自らの悪業を見つめ、悲しみを縁として、遺経に問い、  
自身と世界とを見つめ直して来た多くの人々の歴史がある。  
この悲しみは方々と同じだと、その真つすぐな事実を頼むのじゃ。  
確かに独りで荷う悲しみは苦しい：けれど独りではない。  
それは方々が共に荷ってくれている悲しみだったのじゃ。  
そのことを知れば、大悲になりたいと願わずにはおれんじやろう。  
悲しみや苦しみのない世界として安楽浄土を目指すのではないぞ。  
大悲となるのが安楽なのじゃ、もう分かるな。  
ほら、数珠を回し合う人々の暖かな念仏の声が聞こえてきた。  
悲しみを忘れず念仏申し、申し続けければ、アガリ間違いなしじや。  
さあ、お前も行っておいで。  
次第に駆けていく小僧の跡には、梅檀の甘い香りが漂っていた。

『釈尊から親鸞へ七祖の伝統』東本願寺等を参考に創作

## 月例会のお誘い

〓 童心にかえろう〓

・字手紙教室（十二月一日午後三時〓 参加費五百円 要申込）  
昨年開催して好評だった教室ですが、  
十一月は参加者が少なく、  
ちよつと寂しかったです。  
宣伝が足りなかったと反省しています。  
年賀状の準備にもなります。  
揮つてご参加ください。  
仏教では自縄自縛といえます。  
下手だからとか、  
余計な自尊心を振り払つて  
楽しみましょう。  
楽しく書いたかどうか、  
文字に表れるので不思議です。  
昨年からお願ひしている森亨先生は、  
― 人生が変わる ―  
と大袈裟なことを言っています。  
確かめに来て下さい、お待ちしています。



11月教室の先生と生徒の作品 先生のは？ 住職のは？



## 本山本堂（御影堂・如来堂）が国宝に！

高度な建築技術と卓越した装飾技術により壮麗な信仰の空間を創出しており、我が国を代表する近世寺院建築として極めて高い価値を有している。（文化庁報道発表資料）  
三重県津市の本山にもお参り下さい

# 行事予定 平成三十年

スケジュール帳に転記して、是非、ご予定下さい

## 一月 一日 (月・祝) 修正会

お正月のお勤めです  
簡単なお節を準備します  
午前十一時

## 三月 二十一日 (水・祝) 春季彼岸・永代経法会 (成田屋紫蝶師)

落語と法話で楽しく過ごします  
お非時 (昼食) あり  
午前十時

## 八月 十五日 (水) お盆・歓喜絵 (住職)

法要・法話で亡き人を偲びます  
軽食・花火あり  
午後六時

## 九月 二十四日 (月・祝) 秋季彼岸・永代経法会 (戸田恵信師)

お馴染みの先生の情熱的な法話です  
お非時 (昼食) あり  
午前十時

## 十一月 三日 (土・祝) 本山納骨堂法会・団体参拝

本山へ貸切バスにて団体参拝します  
午前六時ごろ集合

## 十二月 一日 (土) 報恩講

御開山聖人御恩に報いる法会です  
お非時 (昼食) あり  
一日目 午後一時半  
二日目 午前十時

## 二、十二月

毎月一日

## 月例会

毎月一日 午後二時

日時変更の場合があります

寺にご確認下さい

## 後記

○ 子育てにおいて大切にしなければならぬ言葉は何でしょう？

「いい子だね」と可愛がりますが、これは「良い子」を条件に子どもを縛る呪文かも知れません。縛られて息苦しく育った子どもは叛逆者になるでしょう。

「大器晩成だから」と、母によく言われていました。だから私は今でも大器晩成だと思っています。どんな器になるかと希望を持ち続けられる点では良いのですが、母のこの言葉を思い出すとき、私は少し悔しく、また申し訳ない気持ちになります。

負けず嫌いの母は子育てでも頑張っていました。けれど思い通りの成果が出ない、成績が悪い：自分を慰めるように、諦めるための常套句だったのかも知れません。

「面白いね」がいいと思います。言葉として否定ではない、どちらかという肯定的で、関心があると示しつつ少し余裕があり、自由に感情を表現できます。「こうした方がもっと面白いぞ」と指導を続けることも容易です。

「いいネ！」も同様の言葉として推薦します。

○ 母の三回忌を終えて、母と私の異なる点と似ている点がハッキリしてきました。母は独断的で決断が早く文章もスラスラ書きました。私は迷いが多く優柔不断で書くのが苦手です。ただ、道を沢山知っているから迷う訳で、知性の面では私の勝ちだと思えます。母は人に寄り添うのが得意で私は苦手。住職としては決定的にヤバイのですが、この点では完敗です。

物が捨てられず片付けが苦手：は二人に共通した欠点です。改革家という点も似ています。母が改革したことを私は元に戻すように再改革しています。親不孝だと思いつつ：

○ 最近、我が子に「楽しんだ奴が勝ち」とメッセージしています。結果の如何を問わず、努力そのものを楽しめたら、その人は大器だと思おう。自分は成れそうもないので息子に晩成を託します。